

教科目名 社会システム (Infrastructure System)

学科名・学年 : 機械工学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野 辰三

授業の概要			
<p>本科目は、JABEE が要請する「社会技術」の知識を獲得するために開講する科目である。21世紀に入り、日本の経済、産業構造は大きな変革を求められている。また、少子高齢化と雇用形態の変化は我々の社会システムを大きく変えつつある。これらの大きな流れは、都市、地域のさまざまな側面にも大きな影響を与えている。そこで、本講義では、このような状況にある都市・地域における新しい動きや生じている問題を正しく認識し、これからの都市・地域政策や、あるべき都市・地域の姿を検討するための基礎的知識を学習する。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (d1⑤) (d2a)	
<p>(1) 都市・地域において起きている事象を正しく現状認識ができる。(定期試験)                  (2) 地域の産業構造の分析ができる。(定期試験)                  (3) 都市や地域で起きている問題に関して、事例を調べて小論文にすることができる。(レポート)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. まちづくりと都市計画 (1) 都市と都市計画について	○日本の都市, 世界の都市について, その特徴を学ぶ.	【理解の度合い】
2	(2) 都市計画区域	○指定市・中核市・特例市の意味について理解する.	
3	(3) 用途地域	○都市計画区域の考え方について理解する. ○用途地域の考え方と用途規制について理解する.	
4	2. 住民参画とまちづくり (1) パブリック・インボメント	○P I について事例とともに学ぶ.	
5	(2) 特定非営利活動団体	○N P O について事例とともに学ぶ.	
6, 7	3. 地方自治体の再構築 (1) 地方分権の流れ (2) 少子・高齢社会 (3) 市町村合併	○市町村合併が行われる背景と現状, その課題について理解する.	
8, 9	4. 市街地の空洞・衰退化 (1) まちづくり三法と中心市街地活性化法	○「まちづくり三法」の概要を学ぶ. ○中心市街地活性化法について学ぶ.	
10, 11	(2) 大規模小売店舗立地法	○大規模小売店舗立地法について学ぶとともに, 必要駐車台数の計算法を理解する.	
12	5. 産業構造の変化 (1) 雇用形態の変化	○派遣労働, ニート, フリーターの増加等, わが国の雇用形態の変化について学ぶ,	
13, 14	(2) レート・シェア分析による産業構造の分析	○レート・シェア分析による地域の産業構造の分析手法を理解する.	
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	社会システムに関するレポートを小論文形式で課すので, 受講者は日頃から新聞等を読んで時事問題に興味を持つようにしておくこと.		【総合達成度】
教科書	石井・湯沢編著, 『住民参加でつくる地域の計画・まちづくり』, 技術書院		
参考図書	『地域計画改訂版』, 森北出版		
関連科目	電気電子回路, プロジェクト実験, 環境保全工学		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験とレポートで評価する. 総合評価=0.7×(定期試験の成績)+0.3×(レポート) なお, 授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点する. 総合評価が60点以上を合格とする.		